大学で学んだ事

さて、先ほど卒業証書が家に届いて卒業した実感をやっと抱いた所で、ふと、大学生活を振り返ってみました。

「何を学んだかな～」と考えてみると、授業で習った事の９割は泡沫のように、消えて行き、強いて学んだ事を挙げるなら、「考え方」でしょうか。

誰しもが、自分が人生と言う映画の主人公であって、世界は自分中心に回っていると思った事が一瞬でもあるのでは無いかと思います。そして、その考えが強ければ強いほど、エゴが強くなり、傲慢になったり、横柄になったり、自分の思いのまま物事が進まないとヤキモキしてしまったり。

そんな中、強いエゴを持たない、利他主義の友人達と日々を過ごす中で、見習う事が多くあり、芽生える意識がありました。

「あなたは周りに居る５人の友人の平均である」と言う格言がございます。運良く、良き友に恵まれた事で、彼らの影響によって自分の考え方が変化したのです。

格言続きで「謙遜とは、自分自身を小さい存在だと思うのでは無く、自分自身の利益について考える事を少し減らすと言う意味である」。この格言が指し示す考え方を習得し、自己の利益を追求する利己主義に振り切っていたメーターが他人の利益を考える利他主義の方向へメーターの針が動いたのを感じています。

自分の事を少し殺して、相手の事を考える考え方。これが大学生活を通して得た、唯一且つ最高の学びだと思います。何故なら、この考え方こそがチームプレイヤーである事だったり、他人から学ぶ姿勢に生まれたり、相手の立場に立つと言う事に繋がるからです。それにより、自分自身が成長する事が出来るが上、また他の人への何かしらのプラスに繋がるからです。それこそ、これはWIN－WINと言う考え方なのかもしれませんね…